

【長崎市第五次総合計画 前期基本計画】

「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育む」

2025 年度にめざす姿「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」

- 1 確かな学力の向上
- 2 健やかな心と体の育成
- 3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実
- 4 安全・安心に学べる教育環境を整備

【学校教育目標】

「感性豊かで、主体的に行動する生徒の育成」

望ましい集団生活をとおり、豊かな感性を持ち、主体的に学ぶ、心身ともに健やかな行動力のある生徒を育成する。

【目指す生徒像】知・徳・体の調和のとれた生徒

- ・心豊かで、礼儀正しい生徒 : 徳
- ・より求めて学び、創造する生徒 : 知
- ・健康で、たくましい生徒 : 体

【学力向上達成目標】

★学力調査の結果で県平均に達する

★自分の考えを持ち、他と対話しながら理解を深め、豊かな表現と課題解決ができる生徒の育成

【学力向上委員会(研究推進委員会)を中心とした共通実践事項】

- 学力向上を目指した「授業改善4項目」の共通実践
(①学習規律 ②協働の場の設定 ③個に応じた指導 ④ICT を活用した指導)
- 授業改善に向けた研究授業と授業研究会による教師の指導力向上
- 「全国学力調査」「県学力調査」「市学力調査」の分析と課題追求
- 小中連携による学力向上「授業の相互参観」「小中連携会議」
- 家庭学習の充実(①家庭学習の手引きの配付 ②週末課題 ③生徒会活動による自学ノート提出と学習コンテストの実施 ④教科での継続的な学習)

【今年度の重点実践】～学力調査の結果をふまえて～

- 対話の場面を設定し、生徒が自分の考えを持ち、表現しながら課題解決していく授業への改善
- 読み解く力や書く力に重点を置いた基礎基本の定着
- 学校評価における肯定的評価の割合:「対話を重視した協働的な学びを行っている」生徒 100%を目指す。

【基礎・基本の徹底】

- 「めあて」提示と「まとめ」の実践
- 授業の5か条による学習規律の徹底
- 単元テスト・小テストの実施
- TT 授業による個別対応の充実
- 読書の時間の設定
- キュビナの活用
- 学習コンテストの実施

【思考力・表現力等の育成】

- 「書く活動」「自分の意見を述べる活動」を重視した授業づくり
- 定期及び実力テストでの「考えの根拠などを書く」問題の作成と分析
- 対話の場面を設定した授業づくり
- お互いに考えを安心して伝え合い、認め合う環境づくり
- ICTや図書室の活用

【家庭学習の習慣】

- 家庭学習のしよりの配布・活用
- 毎日の自学ノートの提出、助言
- キュビナを活用した週末課題
- 「身に付けたこと」の定着を図る課題
- 「書く」力をつける課題
- 自学スペース設置

【学力調査結果を踏まえた取組】

- 国語科:言語事項[漢字の知識や語句の意味、慣用語等]についての知識・理解の力を伸ばす。
文章の内容をとらえ、要旨をまとめる力を伸ばす。
情報を読み取る力や、自分の考えを記述する力を伸ばす。
- 数学科:授業開始時に前時の既習事項の確認を行い、円滑に本時のねらいに向かうことで、基礎基本の定着を図る。
単元末テストを効果的に実施し、単元ごとに定着した学力を適切に図ることで技能を定着させる。
- 英語科:読解力、作文、話すことについての知識・理解の力を伸ばす。
自分の考え、社会的事項、日常の事についてまとまりのある英文で話したり書いたりする力を伸ばす。

【指導と評価の一体化】

- 評価に基づく検証
- PDCA サイクルによる検証
- 定期テスト、学期ごとの検証
- 学校評価
- 生徒アンケート
- 各学力調査

【学びを支える家庭・地域】

【家 庭】

- 「見守り活動」の実施
- 家庭学習の習慣化
- 家庭学習のしよりの配付
- 全国学力・学習状況調査をもとにした生活習慣の見直し
- 地域フェスタによる家庭の教育力向上

【地 域】

- 学校評議員会の開催
- 小中連携を通じた授業連携・共通指導実践
- 地域(自治会・育成協など)との連携
- 花いっぱい運動